



生活クラブ風車



夢風News

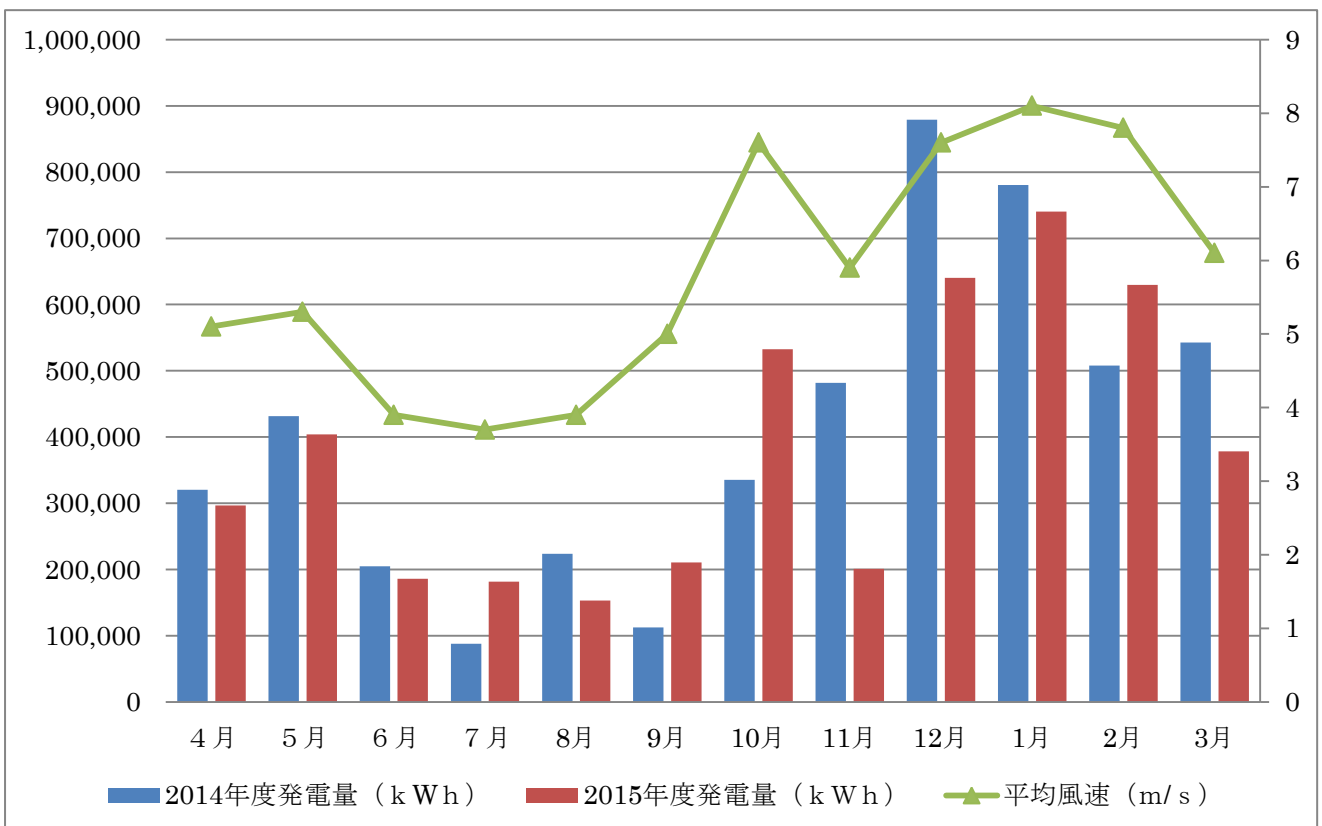
Vol.46

●発行 2016. 4. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2015年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	296,695【92.6%】	5.1	20.7	10月	532,473【158.8%】	7.6	36.0
5月	404,165【93.7%】	5.3	27.3	11月	201,178【41.8%】	5.9	14.0
6月	185,870【90.7%】	3.9	13.0	12月	640,502【72.8%】	7.6	43.3
7月	181,669【206.7%】	3.7	12.3	1月	740,479【94.9%】	8.1	50.0
8月	153,120【68.4%】	3.9	10.3	2月	629,873【124.1%】	7.8	45.5
9月	210,921【187.2%】	5.0	14.7	3月	378,644【69.8%】	6.1	25.6



○ 今月は風が弱く、今年風車建設以来いちばん風の弱い年となりました。

○ 3月22日の落雷による受変電設備の高圧引込盤のアレスタ交換により6日間運転を停止しました。

■2015 年度発電実績■

2015 年度の発電量は過去 3 年と比較して最も少ない結果となりました。

主な要因は、今年は暖冬で強風期にあたる 11 月～3 月の平均風速が例年の 80～90%だったことがあげられます。しかし年間発電量、設備利用率とも高く事業計画上影響がでる実績ではなく特に問題はなく順調と捉えることができます。

- 年間発電量 4,555,589 k Wh (前年比 92.8%、計画比 96.3%)
- 平均風速 5.82m/s (前年比 95.4%)
- 設備利用率 26.1% (前年比 96.0%)

■にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会を開催しました ■

4 月 8 日 (金)、にかほ市の道の駅象潟ねむの丘にて 2015 年度第 3 回連携推進協議会の幹事会を開催しました。にかほ市役所の人事異動で、にかほ市の幹事が 3 名が交代となり、齋藤洋総務部長、佐藤均農林水産課長、佐藤克之商工観光部長が新たに参加されました。

生活クラブ風車「夢風」の稼働状況報告では、今年は例年になく風が弱く、温暖化の影響もあるのではないかとの事です。2016 年度交流企画方針と、風車建設プレ 5 周年を連携推進協議会主催で 9 月に生活クラブ東京・生活クラブ館を会場で開催することを確認しました。また、2016 年度の夢風ブランド品の開発活動と、純米大吟醸「夢風」のにかほ市での販売・利用について協議しました。夢風酒については、にかほ市としてもたくさん利用していきたいとの事です。また、特産品の取り組み状況、芹田地区での加工用トマト実験栽培と大豆の生活クラブ指定産地化、連携推進協議会の 2015 年度まとめと 2016 年度方針について協議を行いました。

また、半澤共同代表より生活クラブの電気の共同購入について資料にもとづいた報告と、山本幹事より生活クラブ千葉の 40 周年記念の幕張メッセでのイベント計画について報告がありました。

今回は、生活クラブの取材をしていますドキュメンタリー映画のいでは堂渡辺監督、カメラマンの佐藤さん、「生活と自治」の取材でライターの高橋さん、北海道大学の研究者である加藤さん、(株)生活クラブ・スピリッツ岡田さんが参加され、連携推進協議会の様子の撮影や須田副市長のインタビューを行いました。



<写真>

前列左から日南工業(株)服部さん、伊藤製麺所伊藤さん、須田副市長、齋藤元総務部長、半澤神奈川専務、林東京常務。

中列左端、高橋さん、右端、佐藤さん、2 人目岡田さん、3 人目加藤さん。

後列右から 2 人目渡辺さん。

■芹田営農組合で加工用トマト栽培の学習会を行いました■

4/9（土）、芹田自治会館で、芹田営農組合を中心ににかほ市の方11名の参加で、加工用トマトの学習会を行いました。

講師は、生活クラブ・スピリッツの岡田良一さん、JA庄内みどり遊佐の遠田直樹係長をお願いいたしました。スピリッツの岡田さんからは、加工用トマトが国内の需要に反して不足している事や、生産安定と増収技術について伺いました。遊佐の遠田係長からは、平成25年度から行っている遊佐での栽培状況と、具体的な栽培方法についてお伺いしました。



芹田営農組合からは、栽培の株間についてや連作障害について、収穫後の運送についてなど、熱心な質問意見がありました。加工用トマトの実験栽培が2年目を迎える芹田では、今年、作付面積を20アールと広げてチャレンジしていくとの事です。収穫が楽しみです。

生活クラブ風車 Q&A

今回は、夢風ニュースで良く使われる言葉の解説です

■設備利用率とは

「ある期間でどの程度その発電設備が働いたか？」を示す指標です。数式にすると、下記のような定義式で表されます。

$$\text{設備利用率 [\%]} = \frac{\text{年間発電電力量 [kWh]}}{\text{定格出力 [kW]} \times 24 \text{ [時間]} \times 365 \text{ [日]}}$$

この式は、年間設備利用率を与えるための定義式です。場合によっては月間や特定の期間での設備利用率を求める場合もあります（その場合は分母の時間数が変わります）。

■解列とは

電力会社の、発電・変電・送電・配電といった電力系統から発電設備を切り離すこと。電力会社の変電所や送電線の点検・補修などのために要請があれば、発電中の風力発電設備の運転を一定期間止めなければなりません。

■電力の組合員アンケート分析報告＆「生活クラブ電気」の共同購入キックオフ集会 を開催しました■

4/16（土）、生活クラブ連合会主催のキックオフ集会在東京生活クラブ館で開催され、北海道から兵庫まで120名ほどの組合員リーダーの参加がありました。

始めに、総合エネルギー政策実行チーム座長の村上彰一東京専務理事より開会の挨拶がありました。また、連合会エネルギー政策担当理事の半澤彰浩神奈川専務理事より電気の共同購入「先行実施単協の概況と申込受付状況について」報告がありました。

続いて、「電力の組合員アンケート分析結果報告と電気を共同購入することの社会的価値」というテーマで、名古屋大学大学院の丸山康司准教授、法政大学の西城戸誠教授、半澤専務理事の鼎談が行われました。生活クラブ組合員は尖がっている事が解るとのアンケート報告があり。電力自由化はコストだけでない選択をする消費者がどれだけいるかを示すことであり、生活クラブの電気の価値は食と同様にあること。若い人への訴求力となっていくこと。などが話されました。

先行取組単協の詳しい活動報告や10月から取組単協の活動アピールも元気に行われ、盛況のうちに閉会となりました。



<先行取組報告をする生活クラブ東京の田中副理事長 >

<活動アピールをする生活クラブ長野の岡澤理事>

■タラーメン醤油味の取組がはじまります！■

夢風ブランド開発第2弾、生活クラブ東京の組合員と伊藤製麺所さんが開発活動に取り組んだタラーメン醤油味が、首都圏4単協の共同購入でデビューします。

2015年度より、東京の環境政策委員の組合員が試食を繰り返した生活クラブのオリジナル品です。

にかほ市特産の鱈しょつつるの旨みを活かして、化学調味料無添加のスープに仕上げました。麺は鳥海山麗の清らかな水と代々伝わる伊藤製麺所の製麺技術で作られたストレート麺です。

5月16日からの週で申込書が配布され、翌週回収、6月13日からの週に配達されます。ぜひ、おおぜいの組合員で利用して下さい。

